

## 第31回 国際電気自動車シンポジウム・展示会 & EV 技術国際会議 2018 若手奨励賞受賞

JTEKT Receives Young Investigator Award at EVS31 & TVTeC2018

2018年9月30日～10月3日に神戸コンベンションセンター（所在地：兵庫県神戸市中央区港島中町）にて開催された、第31回 国際電気自動車シンポジウム・展示会& EV 技術国際会議 2018において、当社社員が若手奨励賞を受賞した。

同シンポジウムは、次世代モビリティを核とした新しい社会像と技術革新について国際的に議論する場を提供し、社会を次のステップに導くことを目的としている。1969年に米国アリゾナ州フェニックスで開催されて以来、約半世紀の長い歴史を誇り、北米・欧州・アジア太平洋の三地域で交互に開催されている。日本での開催はEVS22（2006年10月、横浜）に続く、12年ぶり3回目の開催であった。

若手奨励賞は、最高得点のプレゼンテーションと論文を発表した40歳未満の発表者に授与される賞である。受賞内容は「電動パワーステアリング用補助電源システムと高耐熱リチウムイオンキャパシタ」であり、優れた技術力と機能拡張性、開発技術の実現性の高さなどが評価されての受賞に至った。

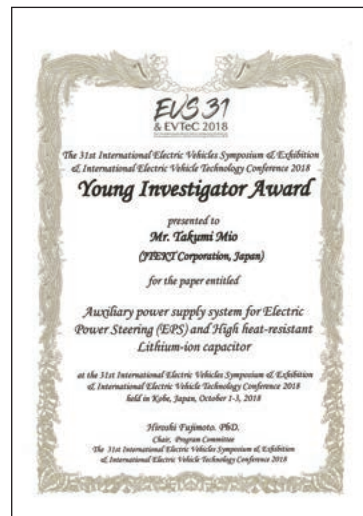
同システムは、12V電源を有する大型車両に電動パワーステアリングを搭載する際の一時的な電力不足を解消するだけでなく、12V電源が失陥した際のバックアップ電源としても動作する高い機能拡張性を有する。バックアップ電源機能は電源の冗長性が要求される高度自動運転車両の実現の一助となり、小型車・中型車にも展開可能なシステムである。

また、冷暖房装置を使用せずに同システムを車両へ搭載することを目的として、当社が独自開発したリチウムイオンキャパシタの高耐熱化技術は、-40～85℃という世界初の動作温度範囲を実現するとともに、その技術がリチウムイオン二次電池にも適用可能であることも報告した。

今後は同システムの実用化と、高耐熱リチウムイオンキャパシタの自動車分野以外への展開も推進していく。



受賞した三尾巧美主任



賞状